

様式第5号

出張調査報告書

平成27年2月23日

松伏町議会議長 山崎 善弘 様

会派名 町民クラブ

代表者 鈴木 勝



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成27年2月12日から平成27年2月13日まで
2 視 察 地	(1) 佐賀県嬉野市 (2) 佐賀県武雄市
3 視 察 目 的	(1) 日本一のバリアフリーのまちを目指して (2) 民間資本と協力した図書館づくり
4 視 察 者 氏 名	堀越 利雄 鈴木 勝 長谷川真也
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

## 平成26年度松伏町「町民クラブ」視察報告書

日程 平成27年2月12日 佐賀県嬉野市

平成27年2月13日 佐賀県武雄市

参加者 鈴木 勝 ・ 堀越 利雄 ・ 長谷川真也

### 視察テーマ

- (1) 日本一のバリアフリーのまちを目指して
- (2) 民間資本と協力した図書館づくり

### 視察報告

#### 嬉野市

##### 日本一のバリアフリーのまちを目指して

2006年嬉野町と塩田町が合併して嬉野市が誕生した。新市建設計画のなかで「障がい者が地域で安心してくらするよう、ユニバーサルデザインの導入を図り・・・」と明記する。

2006年7月7日 嬉野市ひとにやさしいまちづくり協議会発足

2007年3月嬉野市ひとにやさしいまちづくりプラン策定

嬉野市におけるバリアフリーは段差の解消、トイレの様式化のみではなく、弱者、老人、外国人、障がい者の方がたにも差別を無くす分野にも及ぶのが特色である。

##### ※外国籍旅行者へのバリアフリー

旅行者の方が市内を行動しやすくするために「指さし会話版」を作成、英語・韓国語・中国語簡体・中国語繁体の4か国語で嬉野市を観光できるようにした。数年前まで外国籍の観光者が3000人であったが平成26年は3万人に増加した。

##### ※車いすでもOK 入浴介助ができる温泉施設の案内

車いすでの温泉に入りたい、そんな希望を叶えるためにバリアフリーセンターを設置した。自分の介護度や希望を述べるといくつかの温泉施設を紹介してくれる。料金は2人体制で1時間5000円である。ちょっと高いかと思われたが、以前は温泉に入りたいがために地元よりヘルパーの方を引率して入浴をしに来た方がいる。ヘルパーの方の宿泊代も自腹である。そのような事を考えると安いと人気があるとの事であった。

#### ※健常者の方とのミックスダブルス大会

車いすテニスの国枝選手は世界制覇を4年連続している。車いすテニスと健常者の方がミックスで行うテニスがある。この大会を積極的に行っている。中学生がボランティアとして活躍をする。バリアフリーに対する意識向上に大きな役割を果たしている。

#### ※UD浴衣開発 販売事業の実施

車いす利用者や身体に障がいをお持ちの方も簡単に着脱できるUD浴衣を開発し、販売中である。

以上述べたバリアフリーの部分は嬉野市の一部分である。バリアフリーがハード面のみでなく心のソフト面にまで及んでいる事に感心させられた。視察の挨拶には市長の谷口太一郎氏が挨拶していただいたが、これから国土交通省よりバリアフリーの表彰がされ、その祝が行われるとのことで退席された。

#### 東京オリンピックと嬉野市

2020年に行われるオリンピック・パラリンピック ソフトボールの日本代表が合宿した場所でもあるので、そのルートを最大限に利用しパラリンピックの合宿地としての計画を進めている。職員をブラジルに派遣する予定もある。

東京に近い松伏町は何のアクションを起こすのか。

#### 武雄市図書館 (図書館が街を創る)

この図書館は2年前に視察の申し込みを行ったところ視察数多くてとの理由で断られたところである。今回は正式なルートでの視察をあきらめて一般利用者としての視察を行った。1回は見てみたい今日本で一番話題にされている図書館である。

何が話題か。それは市の図書館がスターバックスと蔦屋とがマッチインして運営されている点にある。武雄市が所有する「武雄市図書館」に関して、その指定管理者に市がカルチャー・コンビニエンス・クラブ(CCC)を指名、以後の管理・運営を蔦屋に委託する方式をとったことである。

#### 利用者・利用時間・開館の拡大

今までの図書館は市民の20%しか利用してなかった。

利用時間は10時～18時までであった。閉館日は年34日間であった。これらを蔦屋に委託することにより利用時間を9時から21時まで、年中無休とした。仕事帰りの利用も可能となり当然利用者率も伸びたものと思われる。

### 実際の感想

図書館に近づくと斬新的なデザインの建物が目についた。全体的に丸みをおび、軽いU字型の曲線を帯びている。ドアを入るとランプのついた書籍の展示が目につく、これらのコーナーは販売目的に図書であることを示している。右に目を向けるとスターバックスのコーヒー売り場が目につく。ケーキも販売、軽食も取ることが出来る。システムを伺うと、販売目的の本でも、貸し出し目的の本でもコーヒーを飲みながら読むことが可能との事。本が汚される心配はないのか。今までの図書館とは発想を変える事の大切さを実感した。軽食ができる奥には子供たちの絵本が並べられ、親子で寝転んで絵本をよめるコーナーとなっている。左に目を向けるとCD・DVDの貸し出しコーナーが設置されていた。2階には20万冊に及ぶ貸し出しの本が整然と並ぶ。その奥には学習室があり、1階のざわぎわは打ち消される設計となっている。

### 地域住民のみでなく周りからの集客性も高い

松伏町の町民は、越谷市のレイクタウン、野田市のイオン、春日部のイオン、三郷のイケノヤなど大型店に足を向ける。付加価値のある何かが欲しい。民間と共同開発した施設も1つの方法と実感したところである。

平成26年度町民クラブ視察日程表

平成27年2月12日 南越谷 7時00分  
↓  
羽田 10時00分  
↓  
福岡空港 11時30分着  
↓  
嬉野市塩田庁舎 15時00分

- (1) 日本一のバリアフリーのまちを目指して  
( 嬉野市希望による市内宿泊施設 初音荘 )

平成27年2月13日

現地視察 9時30分より  
(武雄市図書館視察)  
福岡空港 17時00分発  
↓  
大宮 18時40分着  
↓  
南越谷 21時00分着